

賢材研究会 2023 年度活動報告

1. 第一回学術交流会

- ・日時; 2023 年8月7日
- ・場所; 東北大学 青葉山東キャンパスの建築 CLT 実証棟
- ・参加者; 23 名
- ・内容; 会場の建築 CLT 実証棟の紹介と説明を受け、東北大学大学院工学研究科の都市・建築学専攻の先生に講演いただき、賢材研究会から建築材料に関わる話題を提供し、意見交換した。
(CLT(Cross Laminated Timber、直交集成板)は木材のひき板を並べ、板方向が直交するように積層接着した木質系材料で、会場の建築 CLT 実証棟は 2017 年に竣工し、壁と床に CLT を使用している。
(講演)
 - (1)「建築の脱炭素化と建築設備の研究」 小林光氏(東北大学教授)
 - (2)「低炭素コンクリートなど建築材料側面からの環境配慮」 西脇智哉氏(東北大学准教授)
 - (3)「ジオポリマーの可能性と課題」 石田積氏(技術開発コンサルタント)
 - (4)「木造建築が未来の街を変える ～都市に”森”を～」 前田匡樹氏(東北大学教授)
 - (5)「住宅分野の資源循環課題」 井須紀文氏(LIXIL)

2. 第二回学術交流会

- ・日時; 2023 年9月7日
- ・場所; 東邦ガス(株)技術研究所
- ・参加者; 19 名
- ・内容; 技術研究所の紹介と説明を受けた後、二班に分かれて所内を見学した。(工業炉用バーナ開発・水素燃焼技術、CO₂ 分類回収システム評価試験設備、ガスエンジンコージェネ開発・水素混焼技術、高密度蓄熱技術開発、火学 VR) その後、二件の講演をいただき、意見交換した。
(講演)
 - (1)「高密度蓄熱材の開発」 林大稀氏(東邦ガス)
 - (2)「木造建築の今 炭素排出と炭素貯蔵を活かす」 山崎真理子氏(名古屋大学教授)

3. 第三回学術交流会

- ・日時; 2023 年 12 月 12 日
- ・場所; 電力中央研究所 我孫子地区
- ・参加者; 18 名
- ・内容; 電力中央研究所・我孫子地区の紹介・説明を受け、引き続き、研究施設(大型津波実験装置、大型振動台、小型遠心載荷装置、CO₂ 固定プロジェクトに係る装置など)を見学した。その後、電力中央研究所での研究について講演いただき、賢材研究会からも話題提供し、意見交換した。
(講演)
 - (1)「国内外の CO₂ 固定に係る取組み状況と EeTAFCON の開発」 山本武志氏(電力中央研究所)
 - (2)「セメントコンクリートの脱炭素(海外の取組み事例)」 石田積氏(技術開発コンサルタント)
 - (3)「EU における SX(Sustainability Transformation) 動向の一考察」 石田秀輝氏(地球村研究室)

4. 総会および第四回学術交流会

- ・日時; 2024 年3月8日
- ・場所; INAX ライブミュージアム タイル博物館
- ・総会; 2023 年度報告(活動、会計)、会計監査報告、2024 年度(活動方針・計画案、役員案、予算案) 各会員からの活動報告
- ・特別講演; 柴田哲男氏(名古屋工業大学教授)

5. 拡大幹事会「神田川・日本橋川の橋梁や石垣を水上から視察する会」

- ・日時； 2023年5月22日
- ・場所； 神田川の和泉橋防災船着場(秋葉原駅近く)から神田川、日本橋川、隅田川を巡る
- ・参加者； 27名
- ・内容； 神田川の和泉橋防災船着場(秋葉原駅近く)から見学用の船に乗船し、明治から昭和時代にかけて建設された数々の橋梁、江戸時代に築造した堀の石垣などの土木構造物を視察した。案内役を「ちよだの水辺を魅力ある都市空間に再生する会」の岡田邦男氏にお願いし、江戸から東京に至る都市建設の歴史から先人の知恵と技術まで広範囲に渡る解説をいただいた。

5. 会員入退会

- 法人入会； なし
- 個人入会； 山口哲生氏
- 法人退会・個人退会； なし

6. そのほか

- ・幹事会； 6月16日、8月7日(東北大交流会)、9月11日(東邦ガス交流会)、10月24日、1月16日、2月6日
計6回(オンライン併用)
- 内容； 学術交流会の詳細検討・準備、会員入会・退会、会計予算進捗確認検討、来年度活動の検討ほか
10月24日の幹事会はリファインホールディング社の新事務所で開催し、説明を受けながら社内を見学した。
- ・ホームページの作成と更新

以上